



2023年5月12日

各 位

会社名 第一商品株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡田 義孝
(コード:8746 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部長 七條 利明
電話番号 03-3462-8011(代表)

2023年3月期業績見通し及び配当予想に関するお知らせ

2023年3月期業績見通し(速報値)及び配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。なお、2023年3月期決算短信につきましては、2023年5月15日に開示する予定です。

記

1. 業績見通し

2023年3月期通期 連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日、単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2023年3月期(速報値)	4,637	△243	△523	△369
2022年3月期(実績)	5,152	△586	△522	△1,707
増減率(%)	△9.9	—	—	—

2023年3月期通期 個別業績 (2022年4月1日～2023年3月31日、単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年3月期(速報値)	4,240	△250	△231	△423
2022年3月期(実績)	4,763	△572	△499	△1,683
増減率(%)	△10.9	—	—	—

(注)当社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 説明

当社グループにおきましては、金融商品取引及び金地金売買などに注力し、当期における連結売上高は4,637百万円、連結営業損失は243百万円、連結経常損失は523百万円となる見通しです。また、親会社株主に帰属する連結当期純損失は369百万円となる見通しです。

当連結会計年度におきましては、地政学リスクの高まり、世界的なインフレ、大幅な円安が重なる環境の中、国内金価格が史上最高値を更新する展開になったものの、高値警戒感によるお客様の買い控えが広がり、前期と比較して売上高は約1割減少しました。しかし、販売費及び一般管理費の継続的な削減により、営業利益の赤字幅は改善傾向にあります。

これらの速報値につきましては、現時点での合理的判断による見通しであり、実際の業績数値とは異なる可能性があります。

3. 2023年3月期（第51期）配当予想（単位：円）

	年間配当金（期末）	年間配当金（合計）
前回予想	未定	未定
今回予想	0円	0円
当期実績（第51期）		
前期実績（第50期）	0円	0円

当社は、株主に対する利益還元を重要な課題として認識し、財務内容及び今後の事業展開を勘案しつつ、安定的配当を継続して行うことを基本方針としておりますが、上記の業績見通しを勘案し、2023年3月期の期末配当予想を未定から0円にすることといたします。

以上